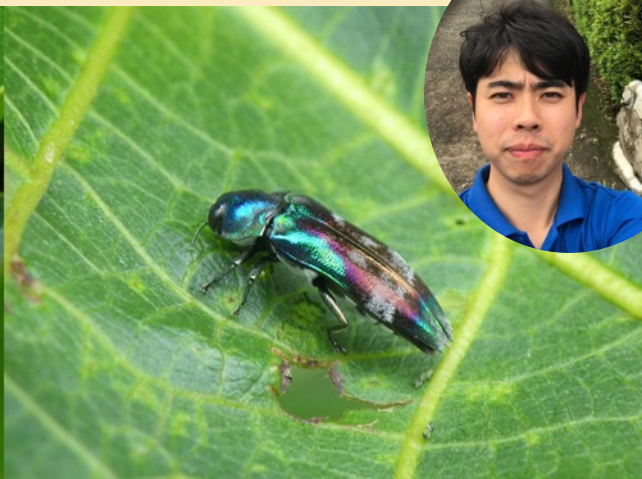


琉大熱研公開講座

タマムシ研究人、蛾の研究をはじめ in 西表島

瑤寺 裕 先生（京都府立大学大学院・生命環境科学研究科）



私は学生時代からタマムシという甲虫の仲間について、多様性や種類を調べる研究を続けてきました。南西諸島は、多くの固有種や日本ではここで見られない種が生息する生き物のホットスポットであり、タマムシも例外ではありません。また、島ごとにすんでいるタマムシの種類が異なることが多く、私はどんな種類がどの島に生息するか（＝ファウナ調査）を少しずつ調べてきました。そんな“タマムシ研究人”である私は、最近「ホソガ」という小さな蛾の研究もし始めました。タマムシとホソガ、見た目は全然違いますが、実は「葉っぱの中に潜って食べる」という共通の葉もぐり習性があります。本講演では、南西諸島のタマムシの話を中心に、葉もぐり習性について、これから西表島ではじめようとしているホソガの研究について、ご紹介します。

日時：2025年 **5月12日**（月）**19:00** – 20:00頃

会場：琉大熱研・西表研究施設・講義室

入場無料・事前申し込み不要（座席数には限りがあります・30席予定）

問い合わせ先

琉球大学・熱研・西表研究施設・事務室

電話：0980-85-6560

公開講座問い合わせフォーム →

